柏市南部「9条の会」ニュース

第№51号　　2018年 4月 10日発行

URL：http://kashiwananbu9jyo.main.jp （柏市南部「9条の会」で検索、ホームページへ接続出来ます）
e-mail： hakunan9jyou@gmail.com　　発行責任者：渡邉起造　090-1121-0502
事務局長：山脇茂弘　090-5818-9830

国民の怒り沸騰！　安倍政権の支持率急落！

森友事件の公文書（決裁文書）の改ざんが明らかになり安倍政権への批判と怒りが急速に高まって来ています。最近の世論調査（3 月 17・18 日）では安倍政権の支持率が前回調査より 10 ポイント以上急落し30%台前半にまで落ち込み不支持率も急増するなど、安倍政権を軸とする政治局面は大きく揺らぎ始めています。

「誰が、何のために改ざんを指示したのか」が　最も重要な解明すべき課題ですが衆参両院（3 月 17 日）での証人喚問を受けた佐川証人（当時理財局長）は「刑事訴追を受ける恐れ」を口実に約 50 回におよび証言を拒絶し安倍政権をかばい続けました。

横暴、暴走、欺瞞、傲慢、国政の私物化、専制支配などと評されてきた安倍政権の本質の一端が明るみになり始めています。森友事件の究明は同類とされる加計学園問題に及びさらに疑念が持たれている諸問題の解明に繋がることでしょう。

「９条運動」正念場！　いまこそ、　一声でも、一歩でも…　　みんなと共に！

安倍首相は政権発足以来最大の危機に直面しておりながら、私の政権の「最終目標は憲法９条の改正」と公言し、去る 25 日には自民党臨時大会を開催し「改憲案」なるものを決定し与野党との協議に入り「国会発議」を目指すとしています。

「安倍政権による改憲ＮＯ！・3000 万署名」を訴える運動組織＝「市民アクション」の取り組みは全国各地で大きく盛り上がりはじめています。特に「安倍ＮＯ！」と「改憲ＮＯ！」が結び付きあい新しい参加者が増え始めています。

チャンス到来！ 安倍政権を辞めさせ、９条を守り抜こう！

柏市南部９条の会　世話人会

お知らせ（当面の予定）

２０１８年憲法集　５月５日子どもの日・柏市民文化会館で

チラシ参照

○弁護士の伊藤　真さんが講演「憲法が危ない」

＊参加費　＊大人 499 円　中高生 200 円
チケットは最寄りの世話人まで

○小杉佐知子＆コカリナアンサンブルの演

九条の会の世話人に加わった弁護士で安保法制違憲訴訟共同代表の伊藤真さんが講演します。
また、柏市内在住で、コカリナ奏者の小杉佐知子さんとそのグループが「愛と平和」の音楽を演奏します。

伊藤　真（いとう　まこと）　弁護士。伊藤塾（法律資格の受験指導校）の塾長。法学館憲法研究所所長。日弁連憲法問題対策本部副本部長。九条の会世話人。1981 年東大法学部在学中に司法試験に合格。1995 年、司法試験指導のキャリアを活かし「伊藤真の司法試験塾（現伊藤塾）」を開塾

小杉佐知子（こすぎ　さちこ）　コカリナ奏者。洗足学園大学音楽部ピアノ科卒業後、ピアノ演奏活動および後進の指導に努める。コカリナの第一人者黒坂黒太郎氏に師事。日本コカリナ協会公認講師。

４月 19 日（木）“19 日行動”「安倍への抗議と 3000 万署名」　柏駅ダブルデッキ　午後 2 時～３時

新しい行動計画は決まり次第お知らせします。

ニュース

安倍改憲NO！3000万署名にご協力ください

市民アクション柏

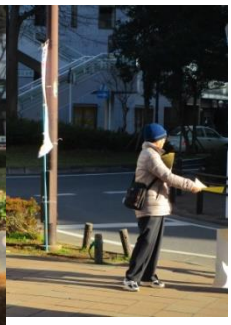
１９日行動　2018.3.19（月）柏駅東口　60 名参加

3000 万署名 107 筆、往復はがき風チラシ約 500 枚

。

南部九条の会

南柏駅宣伝行動　2018.3.6　参加者 6 名



１年を振り返り、明日を語るつどい（総会）を行いました。

藤巻宏三さんの司会進行で、① 総会（プロゼクターを使用）、② DVD「9 条改憲って何?」を見て 話し合いました。当日（2 月 25 日）は、いろいろな行事が重なり、参加者はちょっと少なかったですが、熱心な意見交換が行われました。

【渡邉代表から話題提供】

〇日本の憲法が施行されて 70 年を超えました。戦争しなかった 70年を支えたのは「9 条の旗」を掲げて戦った戦争体験者、癒えない戦争の傷跡を背負った世代だったと思います。
戦争を知り感じ取ってきた世代が老い、次世代を担う方々に戦争を十分に語り継げなかった結果が今日の窮状を生み出したのではないでしょうか。改めて「戦争と 9 条」を今の言葉で語り続けましょう。

〇９条改定の動きや背景を歴史的にみておきたい。アメリカは日本占領時から「再軍備」を要求し日本独立 1 年後の 1953 年の池田勇人（自由党政調会長、のち首相）とロバートソン（米国・国務次官補）の会談で改憲に向けた大きな流れが確定したと言える。

【参考】この会談は米国で開催され「日本の防衛力増強のための相互防衛援助（MSA）協定」の締結に向けた準備の会談で両氏は国の代表でした。
米国は早期の「再軍備化＝軍隊の保持」を繰り返し強調し、日本は国民には戦争体験が生々しくあること、９条が定着していることなどを主張し時間がかかるとした。
この会談の議事録案―「日本政府は教育および広報によって日本に愛国心と自衛のための自発的精神が成長するような空気を助長することに第一の責任を持つ」と記した。　ここでは改憲、再軍備など国民を刺激するような文言を避け、（改憲にむけ）中長期の計画の下に特に教育・マスコミ対策の強化を明確にした。
この年には「教科書の検定権は文部大臣が持つ」と法改正され、以降教育・教科書への国の統制が強められ、２年後の 55 年には、民主党と自由党が合同し「自民党」を結成し［憲法改正］を方針とした。

〇「押し付けられた憲法」と言うが、米国から「要求された改憲」でしょう。

〇安倍政権の「頑張っている自衛隊を憲法の中で認めよう」と言う欺瞞に対し「戦争は絶対ダメ！」「自衛隊を戦場に送るな！」の声を広げて対抗しよう。

〇若者に対し、「自衛隊が必要か不必要か」という改憲派の土俵で話すのではなく、「中国、朝鮮、**他国の人を殺してもよいのか、殺しあってよいのか」というこちらの土俵で問題提起する**ことが重要ではないか。

〇先生や親や大人が「戦争はダメ」と話すことが重要、11 月 19 日行動で署名した学生たちは、先生が「戦争はダメ」と話していたと口々に言っていた。学校でビラを受け取らないよう指導されている学校の生徒は、南柏駅での署名・ビラ配布活動でも全く関心を示さない。

【参加者の意見】

＊ ９条三項で、憲法上、軍隊としての位置づけがされると、軍事行動を優先すると思うから、災害援助には、手薄になるのではないか。

＊新婦人の会にも参加し、6・9 行動にも参加しているが、素通りする人が多い。どうしたら振り向いてくれるのか？

＊「9 条改憲ってなに？」の DVD は非常にわかりやすくて、よかった。5 月 5 日憲法集会で伊藤真先生の話があるが、楽しみにしている。講演前の、前座でコカリナ演奏のグループで演奏に参加する。親戚の葬式に参列したら隣の方が予科練だったり戦死した人の家族の方がいたりしたが話が出来なかった。今の情勢をどうとらえているのかなど、機会をとらえ話してみたいと思う。

＊年賀状を 100 通、毛筆で一枚一枚憲法を守る必要、3000 万署名への協力を要請する内容で書いた。理解して返事をくれた人も何人もいる。

＊6・9行動で、以前は 20 名近い署名をもらえたが、最近はなかなか貰えない。戦争体験者の子供・私たち世代は、「署名するわ」と署名してくれるが、アンケート調査で若い人は改憲に反対しない人が多い、自分は関係ないと思っている人が多いのだろう。まさか北朝鮮が日本を攻撃することはないと思うが、日本には米軍の基地があるから、ここが攻撃されることはあるのではないか？　その時日本はどうするのか疑問に思っている。

＊東京を中心にした、出版関係の OB の会で、言論出版年金関係などに関して話し会いをやっている。政治的なことは出来るだけ避けているが、共謀罪、安保法制など、実際に言論関係触れざるを得なくなってきているので、幅を広げた話をしていこうという方向になっている。9 条まではいっていないが 25 条を中心に話し合っている。若い人との交流をどうするかが課題。

＊戦後 70 年を迎えて、いま何を感じ、何を考えているか小冊子にまとめた。老人会の方には頼みやすいが 40，50 代の方はやってくれなかった。話し合いをしなければ、本当のことは出てこない。この会でも、話し合いができる状態をいろんな角度から追求してほしい。

＊重度障害の息子がいる、一丁ことがあった場合、邪魔者扱いされるのは障害者だと思う。息子のためのも絶対に戦争を起こさせてはいけないと思っている。3000 万署名をやりきらなければ絶対に憲法を守れないと思って、ヘルパーさんなど身近な人に呼びかけて署名をしてもらっている。兄弟、親戚、つながりのある人など、接触出来る人から広げたい。改憲を許したら死んでも死にきれないと思っている。

＊防衛大の一期生の従兄が、「9 条がある限り絶対に戦争へ行くことはない」と言っていた。改憲されれば、新しい条文の方が優先することになりどんどん拡大解釈される。

＊市長に対し「憲法を守ろう」の立場から質問しても、「国の考えること」と、はっきりしたことは言わない。
米軍とすぐ近くの下総基地・習志野基地の間での訓練をやっているようなので今後も追及していく。柏市では、13 人で議員 9 条の会に結成、3000 万署名にも取り組んでいる。安倍さんの悪賢いところだと思うが、「何も変わらない、自衛隊はよくやってくれているからそれを認めてあげるために 3 項に書き込むだけだ」と、災害救助などでの自衛隊への国民の信頼を利用している。今日の DVD なども分かりやすく理解を得ることの出来るものだと思う。（武藤市議）

＊平和憲法は 320 万人もの犠牲があって、絶対に戦争してはいけないという、血のにじむような願いの結実として生まれたもの。3 項に書き込もうとしている自衛隊とは「海外に出てアメリカと一緒になって戦争できるようにする」ということ。私たちは専守防衛、災害救助の自衛隊は認めているのだと話しているが、「北朝鮮が攻めてきたらどうする？」と反論される。北朝鮮が攻めてくると煽られて信じている人には「騙される罪」というのも考えてほしいと思っている。

＊街頭署名、宣伝行動の際にどうしても北朝鮮問題が出て来る。アメリカが主導して国連などの圧力を解除して、アメリカと対等の立場になりたいというのが、北朝鮮が求めているものだろう。北朝鮮脅威論は本当なのか、その辺の考えをきちんと持っている必要があるのではないか。個人的には北が日本攻撃することはないと思っているが、アメリカがいきり立って軍事行動に出たりすれば、日本も巻き込まれる恐れはあるかも知れない、米軍基地があるのだから…。

＊憲法とは、9 条とは、北朝鮮は攻めてくるのか、核の傘は戦争抑止になるのか、9 条に 3 項を加えること、などについて、簡単なマニュアルがあったらよいと思う。

＊迎撃ミサイルを買おうとしているが、北朝鮮がミサイルを撃ってきた時、本当に迎撃できるのか？米国からミサイルを買おうとしているが、今日の新聞で 1 億３０００万ドルも使って迎撃実験に失敗したことが報じられていた。5 兆円を超える防衛費を計上。2 基合計で最低２０００億円という巨費を投じて、迎撃ミサイル・アショアを配備するようだが、迎撃できもしないミサイルを、こんな高い買い物に国民は同意しているのか。北朝鮮危機を煽って利用している。こういうことを知らない人が多いから、知らせていくにはどうするのかを考えるべきだ。

＊体調が悪く、思うように行動できないが、北朝鮮と韓国との対話が進んでいる。韓国は騙されていると言う人もいるが、安倍さんの圧力一本やりの考え方は何も解決しない。何もしていないのと同じ、対話も必要だと思う。孫たちは戦争に引っ張り出されるのはごめんだという考えは、大変強いのに、選挙となると改憲反対の人への投票を頼むと関心を示さず「入れてやるよ」と捨て台詞になると母親が話していた。

＊６８年間続いてきた自衛隊を、誕生の経緯とか憲法との関連で議論されてきたことを知らない若い人は、安倍さんの言う「９条２項を残すし、自衛隊が可愛そうだから３項を設けて書き込むだけ。何も変わらない」という理屈を受け入れてしまうのではないか心配だ。

【ま と め】

〇安倍政権の最大の目標は9条を変えることです。そのため「自衛隊」「北朝鮮」を前面に出し宣伝するでしょう。これに対応するため「学習・対話」をすすめましょう。
〇自衛隊の「是非」でなく「自衛隊は必要では…」と考えている方とも「戦争 NO!」「9条改正 NO!」の一点で一致し協力し合いましょう
〇行動では、毎月19日14時から15時の柏駅頭活動に参加しましょう。南部9条の会として行う駅前・スーパー前行動は決まり次第お知らせします、ご協力ください。
〇「3000万署名」積極的に取り組みましょう。

【検 討 課 題】

① **話し合いができる状態をいろんな角度から追求する**
② 北朝鮮の脅威論にどう答えるか
③ 一見もっともと思われる「自衛隊は頑張っているから憲法に書き込む」への対応
④ **若者に改憲の危機感が伝わらない。**関心がないのか？どうするか？

いま思う　改憲反対 3000 万署名に全力　―　すべての人の尊厳を守るために　―

野田　忠昭　（東中新宿）

安倍政権と自民党は、北朝鮮の脅威を煽り国民に不安を与え、改憲を強行しようとしています。最近の一部の世論調査では、改憲に賛成する人が 5 割を超える状況となっており、改憲右翼団体・日本会議がすすめている改憲署名が 1000 万を超えたと言っています。改憲を阻止する取り組みを強めることが急務となっています。

憲法 9 条を改憲し、日本が無制限に戦争できる状態にすることは断固として阻止しなければなりません。戦後 70 年以上、日本は誰一人として、殺し殺されることなく、日本の平和が保たれてきたのは、戦力不保持、国の交戦権を認めないという憲法 9 条があったからということを決して忘れてはならないと思います。私の長男はMRSA 感染症で九死に一生をえたものの、後遺症により四肢麻痺となり、全介助が必要で車椅子生活を強いられています。不幸にして戦争があったら息子のような障害者は、厄介者扱いされ、無視されて生存することすら危うくされることは必定だと考えられます。

昨年、憲法９条を守る歌人の会が発行した歌集『憲法を読む』に次のような作品を詠みました。

身障の　息子のためにも　守られよ　戦争放棄の憲法９条

日本がいつまでも平和であってほしいと切に願っており、何としても改憲を阻止しなければならないと思っています。

そのために、当面「3000 万署名」を早期に達成することが急務であり、私も微力ながら力を尽くすつもりでいます。日本が戦争するようなことになったら、孫子に顔が立たず死んでも死に切れません。「3000 万署名」達成のために、先ず親戚や知人らに呼びかけ、早期に「3000 万署名」を集め、何としても改憲を阻止しなければと決意しています。

会費・カンパのお願い　：　わたしたちの 9 条の会は会費とカンパで運営しています。
ぜひ、入会いただき、強力な支援をお願い申し上げます。